令和３年度　入学生用　〔　芸　術　科　〕シラバス

北海道北見緑陵高等学校

教科	科目	単位数	種別	年次	
芸術	書に親しむ	2	選択科目	異年次合同	
使用教科書	なし			担当者	

学習目標	芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
学習方法	「表現」の内容では「漢字の書」の楷書，行書，草書また篆刻などの用筆・運筆および字形や全体の構成など多様な表現技法を習得する。 「鑑賞」においては、古典や作品のさまざまな書美の第一印象による把握を重んじ、各人の感じ方や好みなどを明確にし、また、ほかの見方や鑑賞を知ることで、書のよさや美しさを理解する基礎的な力を養う。

学習評価

育成を目指す資質・能力		育成を目指す資質・能力の評価内容
1	基盤的学力	文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。
2	問題発見・解決能力	問いを立て、解決に向かうことができる。
3	情報活用能力	情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。
4	主体的判断能力	物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。
5	協働力	他者を尊重し、協働することができる。
6	自律力	規範意識をもって自律的に行動することができる。
7	実践力	自ら考えて行動し実践することができる。
8	自己認識力	自分の思考を客観的に捉えることができる。

以上の観点をふまえ、
意欲的・主体的に活動を行い、その喜びを味わおうとしたかを総合的に評価します。

担当者から

毎時間ごとの課題に取り組む姿勢を重視します。書を通して自分自身と向き合い、表現力を高めていきましょう。授業の総まとめとして、最後に「卒業作品」の制作を最終目標にします。今まで培った技術・表現・感性を総動員して卒業制作にあたります。高校を卒業しても、生涯にわたって書に興味を持ち、愛好する心情を持ち続けていけるようにしましょう。

月	大単元	単元（題材）	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元（題材）の評価基準	評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8		
4	書に親しむ姿勢つくり	書の基本を学ぶ	自分の名前	○	○	○						書の基本を身につけようとし、進んで書に親しもうとしているか。	観察 提出作品など を総合的に評価する
4			さまざまな筆の線	○					○	○		様々な筆使いをとおして、用筆・運筆によって多様な表現ができることを身につけたか。	
4	漢字仮名交じりの書1	豊かな表現の実践	用具・用材の工夫	○	○	○						用具・用材によって線質や表現が変わることを理解し、表現を工夫している。	
4			文字の大きさ、全体構成の工夫	○					○	○		文字や文字群と余白との関係を理解し、全体の構成を考えた表現の技能を身に付け表している。	
5			商品名デザイン			○	○			○		芸術的・実用的な表現について基礎的な事項を理解し、主体的に取り組もうとしている。	
5			Tシャツデザイン			○	○			○		感性を働かせて、自由にのびのびと表現を工夫している。	
5	篆刻・刻字の学習	篆刻の学習	篆刻について	○	○	○						篆刻や落款印に関する知識について理解しようとしている。	
5			篆刻の用具・用材	○	○	○						篆刻の基本的な用具・用材に関する知識や扱い方を理解しようとしている。	
6			姓名印と文字の配列	○					○	○		篆刻の表現活動をとおして、意図的・主体的に表現することの充実感を味わおうとしている。	
6			印稿の例	○					○	○		篆刻の手順・方法を理解し、自らの意図に基づき選文・検字・印面構成の工夫等を行っている。	
7			彫る手順			○	○			○		用具の扱い・印稿・布字・運刀・押印等の基本的な篆刻の技法を身につけ表している。	
7			いろいろな印			○	○			○		篆刻の美しさと表現効果を味わい、主体的に鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	
8		刻字の学習	書と刻字	○	○	○						刻字の表現活動をとおして、意図的・主体的に表現することの充実感を味わおうとしている。	
8			彫る手順			○	○			○		用具の扱い、籠字、彫り、着色等の基本的な刻字の技法を身につけ表している。	
9	様々な字体の鑑賞	楷書・行書・草書	楷書・行書・草書の成立	○	○	○						楷書・行書・草書の成立について理解すると共に、様々な字体に興味・感心を持ち歴史的位置付けを理解する。	
9			代表作品の鑑賞と臨書	○					○	○		各書体の代表作品の鑑賞と臨書を通して、それぞれの基本的な用法・運筆を習得する。	
10		仮名の書	仮名の書の成立	○	○	○						仮名の書の成立について理解すると共に、様々な字体に興味・感心を持ち歴史的位置付けを理解する。	
11			代表作品の鑑賞と臨書	○					○	○		仮名の書の代表作品の鑑賞と臨書を通して、それぞれの基本的な用法・運筆を習得する。	
12	漢字仮名交じりの書	自分の表現をめざして	感動や思いを表現しよう1			○	○			○		芸術的・実用的な表現について基礎的な事項を理解し、主体的に取り組もうとする。	
1			感動や思いを表現しよう2			○	○			○		感性を働かせながら、自ら課題を選定し、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	
2			感動や思いを表現しよう3					○		○	○	合評会をとおして、鑑賞と表現は相互に関連していることを理解し、書のよさや美しさを感じ取っている。	
3	生活に課す書	硬筆	のし袋・手紙・ハガキの宛名書き	○	○	○						書が生活の中で果たしている役割を知り、書の効用を理解している。	